

(総括評価表4)

世界とつながる新たな熊本の創造 ～世界に挑み、世界を拓く～

1 実現に向けた施策

**施策12** 空港・港の機能向上によるアジアに開くゲートウェイ化

【具体的な施策】

- ① 「大空港構想NextStage」に基づく阿蘇くまもと空港の復旧・機能拡充
- ② 熊本港・八代港の海外展開拠点化

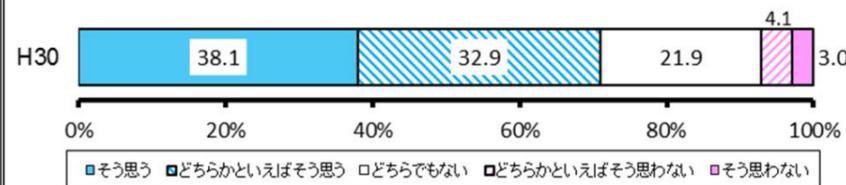
**施策13** 世界と熊本をつなぐヒト・モノの流れの創出

【具体的な施策】

- ① 「KUMAMOTOブランド」の世界展開
- ② 世界とつながる国際人材の育成・活躍支援

○県民アンケート結果

「世界とつながる新たな熊本の創造 ～世界に挑み、世界を拓く～」という取組みの方向性により施策を展開できているかどうか



2 重要業績評価指標 (KPI) の動向

… H29年度の実績値で達成状況を評価する指標  
 … 戦略策定時からH29年度までの実績値の合計で達成状況を評価する指標  
 ※ 目標値を達成した指標は、「達成状況」欄に「☆」を記載

評価指標	戦略策定時 (H27)	H28実績値 (H29評価)	H29実績値 (H30評価)	戦略策定時との比較	目標値の達成状況を評価する実績値	目標値 (H31)	達成状況
<b>施策12 空港・港の機能向上によるアジアに開くゲートウェイ化</b>							
① 阿蘇くまもと空港利用者数 【施策5-①と同一】	323万人/年	298	334	↗	334	380万人/年	
クルーズ船寄港数	12隻/年	12	66	↗	66	70隻/年	
② 熊本港国際コンテナ貨物取扱量	8,889TEU/年	7,386	10,147	↗	10,147	16,000TEU/年	
八代港国際コンテナ貨物取扱量	18,151TEU/年	18,980	20,305	↗	20,305	28,000TEU/年	
<b>施策13 世界と熊本をつなぐヒト・モノの流れの創出</b>							
① 海外(国別)に輸出及び進出を行った県内企業数	495社 (H26)	573	654	↗	654	750社	
HACCP導入施設数	27施設	40	63	↗	63	100施設	
海外高校への留学者数	12人/年	13	12	⇒	12	20人/年	
海外大学への進学者数	18人/年	12	7	↘	7	30人/年	
官民連携による海外研修・留学者数	47人/年	43	42	↘	42	50人/年	
② 留学生(高等教育機関)の受入数	735人/年	685	691	↘	691	1,000人/年	
2020年東京オリンピック強化指定選手数	45人	47	29	-	29	20人以上/年 (H31) 40人程度/年 (~H28)	☆
2020年東京パラリンピック強化指定選手数	20人	16	13	-	13	8人以上/年 (H31) 16人程度/年 (~H28)	☆

3 平成29年度の主な成果・今後の課題や方向性

平成29年度の主な成果

今後の課題や方向性

【施策12】空港・港の機能向上によるアジアに開くゲートウェイ化

阿蘇くまもと空港運営の民間委託に向け、現地視察・セミナーを開催するとともに、国等関係者との協議・調整を適宜行い、国の募集要項の年度内公表を実現した。

国際線定期便について、ソウル線の定期便が再開し、香港線は定期チャーター便の就航を経て定期便化した。H28年度に再開した台湾線と併せ、熊本地震前の国際線3路線が全て定期便として再開した。

空港ライナーの本格運行を開始し、利用者は過去最高(97,788名)を記録した。

八代港において、国から国際旅客船拠点形成港湾の指定を受けるとともに、県とロイヤルカリビアン・クルーズ社との間でクルーズ拠点形成協定を締結した。また、本県へのクルーズ船寄港数がH28年の12隻から66隻に増加した。

物流機能の向上について、八代港では、大型ガントリークレーンの整備やコンテナターミナルの移設・拡充が完了した。また、国際コンテナ貨物取扱量は、H28年から熊本港で37%増加、八代港で7%増加し、両港とも過去最高を記録した。

阿蘇くまもと空港の創造的復興につながるよう民間委託に向け、空港のポテンシャルを最大限に引き出すため、優先交渉権者の選定手続における応募者との意見交換や新運営会社との具体的な連携策の協議を進める。

外国人観光客等の増加を図るため、国際線定期便の路線の安定化、新規路線の開拓等に取り組むとともに、空港アクセスの更なる改善を進める。

八代港では、年間70隻以上のクルーズ船寄港の実現と、将来的に年間200隻程度のクルーズ船の受入れを目指したクルーズ船専用岸壁等人流ゾーンの整備を推進する。

クルーズ船の経済効果を県内各地域に波及させるため、地域の観光資源を活かしたツアーコースの多様化や地元消費型旅行商品販売の推進等に取り組む。また、船内での県産品の活用機会の創出を図る。



国内線別棟ビル及び新国内線・国際線ビルの整備(イメージ)



高雄線に就航した「三熊友達号」



クルーズ船



八代港大型ガントリークレーン

【施策13】世界と熊本をつなぐヒト・モノの流れの創出

県産品の販路拡大や観光PRのため、くまモンを活用し、フランスをはじめ、中国、香港、台湾、ASEAN等においてプロモーションやECサイトを活用した海外販売等を実施した。また、くまモンのイラスト利用の海外解禁とアニメーション制作を決定した。

国際スポーツ大会に向けて、ラグビーワールドカップ2019が開催される九州3都市による「九州開催地宣言」を決定し、合同プロモーション等、大会成功に向けた連携を強化した。また、2019女子ハンドボール世界選手権大会PRのための都市装飾やHP開設等の広報活動を実施した。

グローバル人材の育成について、海外チャレンジ塾等により生徒の海外大学への進学や留学に対する意識の醸成を図った。世界チャレンジ支援基金を活用し、高校生、大学生、若手芸術家等42名を海外に派遣した。

また、留学生等の修学・就職等について、大学コンソーシアム熊本による留学生誘致、外国人農業実習生のスキルアップのための研修、県内の企業向け・留学生向けのセミナーや九州内の留学生と企業とのマッチングサイトの利用促進などに取り組んだ。

「KUMAMOTOブランド」の世界展開を推進し、県産品の海外輸出を増加させるためには、くまモンの認知度や、ブランド価値の向上が必要であり、くまモンを活用するパートナー等の確保や現地企業との関係の構築・強化を図る。

国際スポーツ大会への関心を高める等により大会を成功に導き、復興の姿や感謝の心を世界に発信する。また、レガシーとして次世代に残せるよう、競技普及や施設整備等により、県民へのスポーツの普及と振興を図るとともに、受入環境を整備し、インバウンド観光を推進する。併せて、県民と各国チームとの交流機会を創出するなど、国際交流を促進する。

グローバル人材を育成するため、減少傾向にある海外留学等を効果的に支援するとともに、農業実習生等の学習機会の充実等、留学生をはじめ、外国人材から選ばれる環境整備に取り組む。



フランス「ジャパン・エキスポ」



ハンドボール アソラ代表との交流



九州ラグビーフェスティバル ニュージランド学生選抜vs九州選抜



女子ハンドボール国際大会 JAPAN CUP 2017